

第6回 中央委員会

～2013年度第3四半期会計決算並びに監査報告、石田中央委員が新しくメンバーに加わる～

五月三〇日(金) 十四時からアークホテル京都において、第六回中央委員会が開催された。冒頭、瀬戸執行委員長から日頃の組合活動への感謝が述べられた後、①都大路作戦について②集団的自衛権及び政治について③中央委員及び代議員の補欠選挙について述べられ、市労連交渉の成功と石田大士新中央委員の紹介がされた。続いて、報告事項として、自治労関係では、府本部執行委員会報告がされた。次に、対局関係に入り①お客様獲得戦略会議②営業意識向上ワーキング③地下鉄烏丸線への可動式ホーム柵の設置について、それぞれ報告がされた。その後、専門部・付帯専門の変更に報告され、議案事項に入り、二〇一三年度第3四半期会計報告並びに監査報告が確認され、二〇一四年度人員確保に関する要求書及び二〇一四年度男女平等社会を求める要求書について確認がされた。

より京交組合員のモチベーション向上に繋がる制度の確立のため引き続き労働運動を展開することを確認し、第六回中央委員会を締め括った。



石田大士 新中央委員



瀬戸高志 執行委員長



京都交通労働組合

電話(075)841-0948

発行者 瀬戸高志

編集者 梅田涼

各種委員会レジメ

2014.5.29 京交組合本部

第19回 執行委員会

報告事項

- 6月日程について (別紙)
- 自治労関係 (別紙)
 - 第8回執行委員会について (別紙)
- 対局関係 (別紙)
 - お客様獲得戦略会議について (別紙)
 - 営業意識向上ワーキングについて (別紙)
 - 地下鉄烏丸線への可動式ホーム柵の設置について (別紙)
- その他 (別紙)
 - 専門部・付帯専門委員の変更にについて (別紙)

議案事項

- 2013年度第3四半期会計決算並びに監査報告について (別冊)
- 2014年人員確保に関する要求書について (別紙)
- 2014年男女平等社会を求める要求書について (別紙)
- その他

2014.5.30 アークホテル京都

第6回 中央委員会

執行委員長挨拶

報告事項

- 6月日程について (別紙)
- 自治労関係 (別紙)
 - 第8回執行委員会について (別紙)
- 対局関係 (別紙)
 - お客様獲得戦略会議について (別紙)
 - 営業意識向上ワーキングについて (別紙)
 - 地下鉄烏丸線への可動式ホーム柵の設置について (別紙)
- その他 (別紙)
 - 専門部・付帯専門委員の変更にについて (別紙)

議案事項

- 2013年度第3四半期会計決算並びに監査報告について (別紙)
- 2014年人員確保に関する要求書について (別紙)
- 2014年男女平等社会を求める要求書について (別紙)
- その他

- ・一面・
- ・第6回 中央委員会
- ・各種委員会レジメ
- ・都市交評第2回バス部会
- ・都市交評第2回地下鉄部会
- ・都夢ちゃんのひとり言
- ・二面・
- ・第1回安全・安心・交通研究会
- ・三面・
- ・第1回安全・安心・交通研究会
- ・教宣部員のつばやき
- ・Fromみぶ
- ・ナンプレ
- ・クロスワード当選者
- ・都夢ちゃんのひとり言
- ・四面・
- ・「安全・安心・信頼の公営交通キャンペーン2014・春」

都夢ちゃんのひとり言

効率よく脂肪を燃やしたい①

運動で脂肪を燃やすのは有酸素運動(話しや笑顔がでる強さの運動)で、一日のうちで莫大なエネルギーを消費するのには筋肉が重要です。適度に有酸素運動と筋力トレーニングを組み合わせた場合は、より効率的に脂肪を燃やせることができます。例えば、一時間八〇〇歩のウォーキングをすれば、消費されるエネルギーは約八〇〇キロカロリー程度です。一方、一時間八〇〇歩のウォーキングをしながら、同時に筋力トレーニングを行うと、消費されるエネルギーは約一五〇〇キロカロリー程度に増加します。これは、筋力トレーニングによって、筋肉が燃やせるエネルギーが増えるからです。また、筋力トレーニングによって、筋肉が燃やせるエネルギーが増えるだけでなく、筋肉が燃やせるエネルギーを増やすための代謝も高まります。つまり、筋力トレーニングによって、脂肪を燃やすための代謝が高まり、脂肪を燃やすためのエネルギーが増えるのです。

自治労本部会館に於いて、第二回自治労都市交評第二回バス部会が開催された。冒頭、東京庭野部長より挨拶があり、今回の会議で自治労本部として各地方からの政策要求をヒアリングし内容を把握させ、バス部会として政策要求を作成する趣旨が説明された。その後、加盟十八都市からの報告及び要求が行われ、各都市からは主に違法駐車への啓発運動や公共交通優先への取り組みについて提案がされた。京都からは四条通りの歩道拡幅について、や、東山地域での慢性的渋滞についての改善要求及び取組が報告された。最後に今回の各都市からなされた報告及び要求を次回のバス部会で確認することを全体で承認した。その後、懇親会が開かれ、それぞれの都市との意見交換がなされ、バス部会が閉幕した。

梅田涼 自動車副部長

司会をされた庭野部長

都市交評第二回バス部会

二〇一四年四月四日(金)

自治労本部

筋力トレーニングで脂肪が燃えやすい状態をつくり、有酸素運動で脂肪を燃やさせるのが効果的なのです。普段の生活や有酸素運動をしているときのエネルギーは、糖質と脂肪がほぼ一対一で使われ、筋力トレーニング時には糖質がほぼ一〇〇%消費され、脂肪がほとんど消費されません。つまり、筋力トレーニングによって、糖質が消費され、脂肪が燃やせるようになります。また、筋力トレーニングによって、筋肉が燃やせるエネルギーが増えるだけでなく、筋肉が燃やせるエネルギーを増やすための代謝も高まります。つまり、筋力トレーニングによって、脂肪を燃やすための代謝が高まり、脂肪を燃やすためのエネルギーが増えるのです。

第二回地下鉄部会が開催され、交通政策課題について各単組の代表者が意見交換を行った。最初に報告事項として第一回地下鉄部会の内容を確認し、続いて交通政策基本法に基づく「交通政策基本計画」について説明があった。

続いて前回の地下鉄部会で確認された交通政策課題前進に向けた取り組みについて、全単組から現況について報告があった。京都は、①公営交通事業の維持発展と雇用の確保、②企業ブランドの構築、③第三者暴力行為への対応と未然防止、④地下鉄を有効に活用したまちづくり政策、などに取り組んでいることを報告した。他都市からは、交通政策基本法を踏まえた施策の取り組み、パリアフリー化の促進、全線ホームドア整備、暴力・迷惑行為対策強化、などの報告があった。その他として各都市の情報交換が行われ、IC機器導入に伴い乗り継ぎ割引をポイント付加に変更することや、庁舎内完全禁煙の流れのなかで今後如何に対処していくか、などが議論された。特に鉄道係員に対する暴力行為防止については重要課題として認識されており、今後都市交評としては交通労働協など連携を取りながら政策要求に反映させることを確認し会議を終了した。

辻井啓典 電車副部長

都市交評第二回地下鉄部会

二〇一四年四月十七日(木)

自治労本部

自治労総合都市交通局関西ブロック連絡会主催 ～第1回安全・安心・交通研究会が行われた～



平成二十六年四月二十四日(木)、二十五日(金)の二日間にわたり、兵庫県城崎の地に於いて、自治労総合都市交通局関西ブロック連絡会主催の研究会が開催されました。今回は安全・安心をテーマに三つの講座が用意されており、関西ブロックに加盟している八単組から、八〇人余りが参加しました。

冒頭、主催者を代表して、大交出身の中山議長が日頃の労働運動への感謝を述べ、挨拶とともに、①東京オリンピック開催決定に期待する効果や課題について②集団的自衛権の動向③交通政策基本法のプロセスについて等を述べ、今回の三つの講座について説明をされました。

続いて、第一講座に入り「年金制度の概要」と今後の課題について大府市町村職員組合より山本茂幸参与と村職員共済組合より山本茂幸参与による講義がおこなわれました。

第二講座では「各都市に於ける今日的な情勢」について参加八単組より、名古屋、大阪、京都、神戸、高槻、伊丹、尼崎、徳島が報告を行いました。



主催者を代表し挨拶をされた中山議長



主催者を代表し挨拶をされた中山議長

た。その後、懇親会に入り各都市と意見交換を行い、一日目の日程を終了しました。二日目に入り、第三講座は、横田昌三社会民主党政策審議会事務局長より「交通政策基本法の概要と今後の課題」について講演がありました。各講座で活発な質疑、応答がなされ、全日程が終了しました。年



座長を務めた梅田自動車副部長



座長を務めた梅田自動車副部長

参加者の感想

都市交時代の「公営交通研究会」が自治労の「安全・安心・交通研究会」に様変わりしましたが、私としては久しぶりに集会参加させていただけました。今回は三つの講座が用意され、第二講座の「各都市に於ける今日的な情勢について」では京交を代表して単組報告を行いました。先ず京都市交通局の経営状況について市バス・地下鉄それぞれ二〇一二年決算をもとに報告し、今後取り組んでいく方向性について発表しました。市バス事業は経営健全化団体から脱却し補助金に頼らない自立した経営にあつては至っていません。鉄事業は目標達成には至っていませんが計画を上回るペースで改善しています。両事業ともに「攻めの経営」に取り組んでいかなければなりませんし、お客様を味方につけることが私たちの職場を守ることに繋がるといふ京交の考え方についても説明しました。市民の皆様には「市バス(地下鉄)の運



京都の報告をする辻井副部長

転士さん、親切やし安心して乗れるわ」と言っていたただかなければなりませんし、観光客の方々には京都で良い思い出をいっぱい作って帰っていただく、その良い思い出のひとつに市バス・地下鉄がならないといけません。他の単組も生き残りを掛けて様々な努力をされていますが、京交のスタンスについても十分に共感していただけたと思います。他都市の報告からは民営化など厳しい内容のものもあつたが、京交の運動の方向性は正しいと思えます。それしか道はないと考えます。

移動する権利をどの様に法案化し、実施していくのか勉強になりました。公共交通には今後大きく関係するため注意が必要で。公営交通で順風満帆と言うところはひとつもありませんが、危機感を今後の成長へと変えられる様、今回学習した事を職場でも活かしていきたいと思えます。



質問に立つ堂下中央委員

はじめに参加し、二日間の日程で三講義を受けて感じたことは、この研究会をいかに組合員のみならずに伝えられるかが難しく思いました。年金制度については二十七年十月に一元化されますが、すでに支給と支払の人数割合が一対一を下回る数字になっており、制度が確立した時と比較すると圧倒的に負担率が多く、税金や運用資金では賄えない状態であり、少子化などの影響により、今後このような状態は続くので、崩壊することなく先を見据えた安定的な制度を作り上げてもらいたいと思えます。



質問に立つ大西中央委員

交通政策基本法については、時代の流れによる、運輸業というよりサービス業としてのお客様のニーズにあつたサービスをし、また、交通空白地をなくすといった民間では、できない事を盛り込んだ政策もありました。このようなのは、公営企業が担う事だと認識しているの、法律をたてにお客様を味方につけていきたいです。京交の場合はいち早くお客様を味方につける努力はしているの、これ以上に取り組みなければならぬと思いました。最後に年金制度、交通政策基本法の概要と課題は、私たち組合員が作り上げるものではなく、政治的な要素で成り立っていますので、私たちはしっかりと政策を見極め応援・支持をしていかなければならぬと感じました。

大西 英樹

四月二十四日と四月二十五日の二日にかけて行われた、第一回安全・安心・交通研究会に初めて参加しました。全体を通して感じたことは、今後の生活に関わる年金制度や自分たちの職場である京都市とその他の都市の情勢、また、仕事に密接な関係にある交通政策基本法と幅のある内容で講義を受け、特に第二講座「各都市に於ける今日的な情勢について」で、京都市の置かれている状況を再認識し、甲乙一丸となつて様々な運動を展開し頑張り続けている京都市を誇りに思い、また、今後の組合活動や仕事に活かしていきたいと思いました。

昨年度から引き続き、今回も参加しました。非常に内容の充実した研究会で、感想ではありますが皆さんにも伝えたいと思えます。初日は、共済年金の国民年金との一元化の話で、以前、京交の勉強会でもありましたが改めて日本の年金の先行きの厳しさを実感しました。気になったのは職域部分ですが前回聞いた内容通り退職金の引き下げで帳尻を合わせず事でした。その部分は強調されず、いずれにせよ改正される事は間違いないので、良いように考えようという話でした。何か納得のいかない感じでした。二つ目の講義は各単組の現状について報告がありました。大阪をはじめ各単組は厳しい状況の中、生き残りかけた活動を迫られており、我々京交は、前向きで一番成功していると思う程でした。改めて、今の京交の方針は間違えてないのだと実感するばかりでした。中でも尼崎の現状は大変厳しい状況で、来年の市バス民間移行を前に職員としての未だに結論が出ていないとの事で民間にそのまま移行か市職員として残れるのか協議中との事でした。最後に交通政策基本法について社民

党の横田事務局長より講義を頂きました

た。これは都市交が求めてきた悲願でもあり、民主党政権下でも、もう一歩のところで実現するところだった法案です。時代の流れと共にようやく秋には実現するところまで来ました。「移動する人の権利」がそこにあります。法案の内容には権利までとは言いませ

福本 泰市

自治労へ統合後、初となる公研集会へ参加してきました。二日に渡り全三講座を受講しましたが、その中でも印象に残ったのは、各単組が今日の情勢をそれぞれ一〇分の持ち時間で報告する講座です。限られた時間の中で各単組の報告がありましたが、やはり各単組の置かれている状況は厳しいように、大変努力されています。

大交の資料の中に、公営のデメリットは、どのようにすれば、お客様に満足頂いてご利用に結びつけられるのかといったことについて、お客様側の意識を敏感に把握せず事業者側の意識で考えてしまいがちとありましたが、その通りで、まだまだ、お客様目線からの改革が欠けていると思いました。各単組、色々な取り組みを行って盛り返してきています。京交も他都市に負けな

江谷 孝行

四月二十四日から二十五日にかけて、自治労総合都市交通局・関西プロック連絡会の「安全・安心・交通研究会」に参加しました。

第一講座は、大阪府市町村職員共済

組合総務課の参与山本茂幸さんの講座で、「年金制度の概要と今後の課題」というテーマでした。少し前に京交の講習でも聞いた内容ですが、共済年金を厚生年金に一元化して三階部分も統一するという改正の現時点でわかっている概要でした。

第二講座では、京交から梅田自動車副部長が座長を勤め、「各都市に於ける今日の情勢について」という議題の元、全単組が報告を行いました。名古屋・大阪・京都・神戸・高槻・伊丹・尼崎・徳島の順で発表を行い、各単組が事業の概要や取り組み内容、目標や課題について報告を行い、大変興味深い内容でした。他の単組からの質問もあり、大変活発な講座でした。京交からは辻井電車副部長が報告を行い、バス・地下鉄について報告しました。「どうしてそんなに増客できたのか？」という質問がされ、京都としての取り組みの内容を説明されました。その他に、大小様々な単組の状況を聞くことができ、大変良い勉強になりました。

第三講座は「交通基本法の概要と今後の課題」という内容で、社会民主党政策審議会事務局長の横田昌三さんが講師をされました。交通政策基本法ができるまでの道のりを説明され、交通政策基本法の概要、そして、その意義と課題について講演されました。マイカーが多数を占める中、公共交通へシフトするにはどうすればいいのか、まだまだ、課題がたくさんあり、バス、地下鉄の利便性などの向上を更に図り、交通政策基本法を味方につけるような活動を考えていかなければいけないと思えました。

わずか二日間の研究会でしたが、内容がとても濃く、大変勉強になりました。自分も日々の仕事の中で公営として守るにはどうすればいいのかという事を深く考え、良い仕事をしていきたいと思えます。

永山 篤史

「地名の謎」

今年の三月から教宣部副部長を拝命しています。実は過去にも教宣部員をしていたことがあり、復帰ということになりました。ただ、昔の教宣部とはかなり様変わりしており、一からのつもりで頑張らなければなりません。

今回「つばやき」のコーナーに抜擢され、何をつばやきかと色々と考えていきましたが、ちよつと気になつてつばやきと、そのことについてつばやきと、最近、東京へ行く機会が何度かあり、東京には「谷」のつく地名が多いことに気づきました。しかもほとんど読み方が「や」なものです。渋谷、四谷、日比谷、入谷、市ヶ谷、千駄ヶ谷、雑司が谷、谷中（やなか）、神谷町（みやちやう）・・・。「がや」というのも結構ありますね。まだまだありますが、東京の人にこのことを聞いても「よく分からな

い。気にしたこともなかった」という反応でした。逆に「たに」と読む地名（駅名など）としては、鶯谷、茗荷谷、谷町ジャンクションくらいしか思い当たらないそうです。

色々調べてみると、やはり東



「ナンプレ」のコーナーです。

ちよつと一息！頭のリフレッシュしてみませんか？下記のマス

紙に對するご意見・ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。

				8		7
1	2			7		4
		3			2	
3	9			6		
				1		2 8
					9	
			5			1 2
	8		3			
	7		4			

クロスワードパズル
京交673号解答

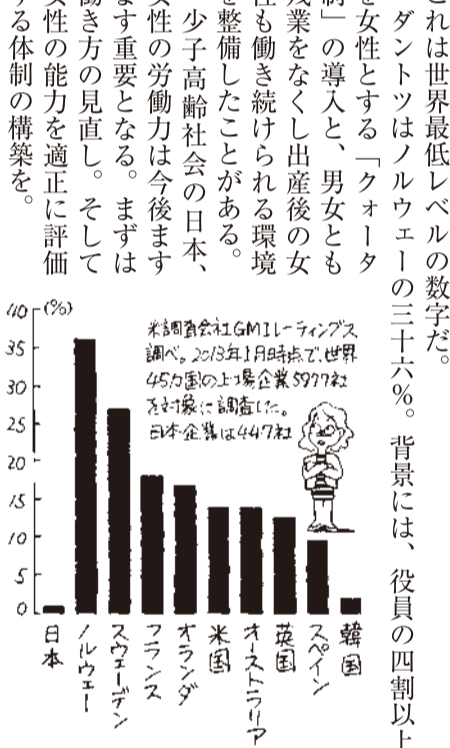
当選者氏名(敬称略)
山本 哲也(電整支部)
前崎 浩崇(駅務支部)
前田 誠(烏丸線乗務支部)

⑦ニキワ イシキ
⑧シケイ サンキ
⑨ニシキ
⑩イケン
⑪イケン
⑫イケン
⑬イケン
⑭イケン
⑮イケン
⑯イケン
⑰イケン
⑱イケン
⑲イケン
⑳イケン
㉑イケン
㉒イケン
㉓イケン
㉔イケン
㉕イケン
㉖イケン
㉗イケン
㉘イケン
㉙イケン
㉚イケン
㉛イケン
㉜イケン
㉝イケン
㉞イケン
㉟イケン
㊱イケン
㊲イケン
㊳イケン
㊴イケン
㊵イケン
㊶イケン
㊷イケン
㊸イケン
㊹イケン
㊺イケン
㊻イケン
㊼イケン
㊽イケン
㊾イケン
㊿イケン

■答えは「メディカルテクニック」

女性の役員比率が1%台

日本の主な企業での女性役員の比率はわずか1%台しかない。これは世界最低レベルの数字だ。



Part2 都導ちゃんのひとり言

電車のなかでお化粧をする方、見かけますね。先日は朝の満員電車で立ったままお化粧をしている人がいました。マスカラも塗って揺れているのに急ブレーキがかかったら、と想像するとちよつと怖くなつてしまいました。ですから右の質問はありえないことではないと思えます。

通勤途中、電車のなかでマスカラを塗って急停車で目を負傷した場合、通勤災害になるか？

「通勤途中、電車内でマスカラを塗っていたところ、電車が急停車したため目を負傷してしまいました。通勤災害と認められるかどうか、自己責任の範囲ではないかと考えているのですが、どうでしょうか。」(東京H社)

通勤途中、電車のなかでマスカラを塗って急停車で目を負傷した場合、通勤災害になるか？

「通勤途中、電車内でマスカラを塗っていたところ、電車が急停車したため目を負傷してしまいました。通勤災害と認められるかどうか、自己責任の範囲ではないかと考えているのですが、どうでしょうか。」(東京H社)

通勤途中、電車のなかでマスカラを塗って急停車で目を負傷した場合、通勤災害になるか？

「安全・安心・信頼の公営交通キャンペーン2014・春」

～愛される市バス・地下鉄をめざして、社会貢献活動に取り組む～

西賀茂支部

二〇一四年四月二十五日に社会貢献活動として清掃活動を上賀茂神社にて行いました。西賀茂支部(九名)で清掃活動を行いました。上賀茂神社は世界遺産に登録後、年々、訪れる観光客が増えております。また、四月は新入学された学生さんや、地元住民の皆さんなど、沢山のお客様に市バスをご利用頂き、毎日のように賑わっております。当日、午後四時過ぎより一時間掛け、バス停周辺を重点的に清掃しました。清掃活動中、お客様から『ご苦労様』『下賀茂神社は何系統で行けばよろしいですか?』など、お客様ともコミュニケーションがとれ、お客様の気持ちになって色々勉強させられる一面もありました。活動終了後は、昨年以上のゴミが集まり、参加した組合員からは『バス停が綺麗になり、お客様が気持ちよく、バス待ちが出来る』など、口々に言い合せていました。今後も西賀茂支部では、地元住民・京都市民・観光客に愛される京都市バスを目指し、日々社会貢献活動に尽力したいと思います。



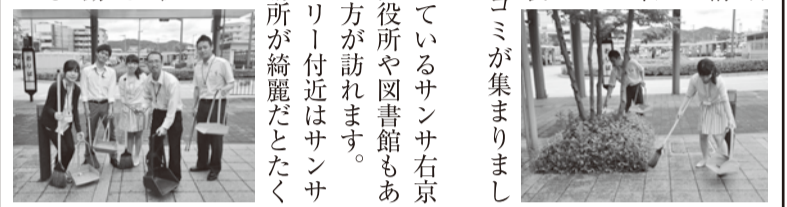
本局支部

二〇一四年四月二十八日(月)サンサ右京周辺で清掃活動を実施しました。恒例となっているこの取り組みですが、今回もタバコの吸殻や空き缶等が多く、約三〇分の清掃活動で、袋がいっぱいになるくらいゴミが集まりました。いつも清掃活動を実施しているサンサ右京は、交通局だけでなく、区役所や図書館もあり、毎日たくさんの方々が訪れます。今回清掃したバスロータリー付近はサンサ右京の玄関口でありこの場所が綺麗だとたくさんの方々に喜んでいただけます。今後もこの組合の取り組みは勿論のこと、日頃から高い意識を持って美化活動が続けていきたいと思います。



梅津支部

二〇一四年四月二十一日(月)今回も営業所の顔と言える京都市外大前のバス停を活動場として選びました。このバス停は、三号系統の発着を中心として、四条通りに結束する鉄道駅や施設へ沢山のお客様をお運びするバス停です。このバス停を綺麗に清掃し、清潔感を保ち気持ちよくお客様に利用して頂くため心を入れて清掃しました。四条通りは大変交通量が多く、煤や埃で標柱などがくすんでしまいましたが、雑巾で丁寧に拭き上げ、掃き掃除などで綺麗に清掃し取り組みを終えることができました。これから、市民の方に喜ばれ、また、市バスの増客にも関わる、この活動を長く続けて行き「市民に愛される市バス」に向けて頑張りたいと思っております。



烏丸支部

二〇一四年四月十六日(水)夕方、烏丸北大路駅のバス停を清掃しました。バス停付近を丁寧に掃き掃除し、ごみを集めました。その後、標柱の雑巾掛けを行いました。長身の組合員が協力してくれ大変美しくなりました。新運転計画で二〇六号系統をはじめ烏丸営業所全系統が烏丸北大路バス停に停車する事になり、お客様がバス待ち環境を良くし、一人でも多くのお客様に利用して頂きたいの思いで活動を致しました。今後もこのような活動を継続しお客様に気持ちよく利用して頂きたいです。



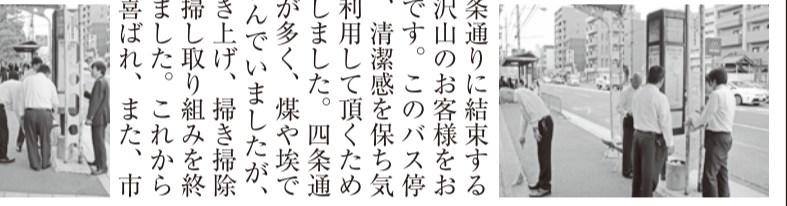
自整支部

二〇一四年四月一日(木)地下鉄竹田駅西口ロータリー」のバス停・タクシー乗り場周辺で清掃活動に取り組みました。お昼の休憩時間内でしたが、タクシー乗り場の運転手さんも清掃活動を行なわれており、いつもならタバコの吸殻で一杯のタクシー乗り場もゴミが少なくなっていました。今後もこの清掃活動で、バス停周辺を美しく保ち、お客様に気持ちよくバスを待つ頂けるように、取り組んで行きたいと思っております。



九条支部

毎年、春と秋に行われる社会貢献活動の一環として清掃活動を行いました。今回は営業所前のバス停を清掃しました。活動には代議員や、今回の人事異動で錦林支部から来た組合員も加わり活動しました。当日は午後四時過ぎよりバス停周辺を重点的に清掃しました。最近車庫前から乗られるお客様が増え、清掃中も色々行き先等を聞きながら活動しました。短い時間でしたが沢山のゴミが集まり、特にタバコの吸殻が多かったのは、驚きました。今後も清掃活動を続け、市民の方に愛される市バスを目指して努力していきます。



烏丸線乗務支部

四月二十四日(木)に「安全・安心・信頼の公営交通確立キャンペーン」統一行動を行いました。内容は、恒例になっております。竹田駅西出入口及びバス停付近を清掃しました。今年、桜の花も早々に散ってしまい、花びらのゴミもなく、全体にきれいな竹田駅でした。吸殻は植え込みの見えない所に隠すように捨てている状況がありましたが、その植え込みの吸殻も含め清掃が出来ました。これからこの清掃活動を続けていきたいと思います。今回の活動を終了しました。



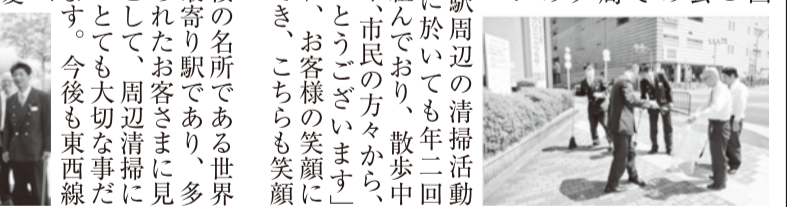
東西線乗務支部

二〇一四年四月二十四日(木)自治労・都市公共交通協議会の統一行動として地下鉄醍醐駅周辺、パセオダイゴロ周辺で清掃活動を行いました。地下鉄醍醐駅周辺の清掃活動は、これまでに於いても年二回ペースで取り組んでおり、散歩中高齢者の方や、市民の方々から「いつもありがとうございます」と声を掛けられ、お客様の笑顔に触れることができ、こちらも笑顔になりました。京都屈指の桜の名所である世界遺産醍醐寺の最寄り駅であり、多くの観光客で来られたお客さまに見ていただく駅として、周辺清掃に取り組む事は、とても大切な事だと考えております。今後も東西線乗務支部では、地元の皆様へ愛される乗務支部を目指して、積極的に地元密着の活動を続けて行きたいと思っております。



電整支部

二〇一四年四月十五日(火)、天候に恵まれ暖かい中、電整支部は竹田車庫工場、西側フェンス沿いの清掃活動に取り組みました。昨年も西側フェンス沿いを清掃しましたが、今年は昨年と比較してゴミの量は全体的に少なかったように感じられました。しかしながら、吸殻や空き缶・ペットボトルのような環境・景観を悪化に導くようなゴミが相変わらず散見されました。また、用水路にもゴミが多く放置されていたので、用水路が深く、底まで降りて清掃することが出来ませんでした。西側フェンス沿いの道路は生活道路として、付近の住民の方々が利用されておられるので、更には、近隣の住民の皆様にも、更に快く思っていただけ車庫工場を目指し、次回用水路の清掃を行いたいと思っております。



駅務支部

四月二十二日(火)に都市交評統一行動の清掃活動に取り組みました。今回は、駅務支部から、一番近い市役所前駅を選んできました。当駅は、ゼスト御池とも隣接しており、なんとと言っても「市役所の前」にある駅です。言わば東西線の顔と言っても過言ではないでしょう。しかも繁華街も近く、毎日たくさんのお客様にご利用頂いております。気持ちを込めて清掃に取り組みました。これからも多くのお客様に快適にご利用頂けるように、このような活動にも積極的に取り組んでいかなければならないと思っております。



西側フェンス沿いの清掃活動

二〇一四年四月十五日(火)、天候に恵まれ暖かい中、電整支部は竹田車庫工場、西側フェンス沿いの清掃活動に取り組みました。昨年も西側フェンス沿いを清掃しましたが、今年は昨年と比較してゴミの量は全体的に少なかったように感じられました。しかしながら、吸殻や空き缶・ペットボトルのような環境・景観を悪化に導くようなゴミが相変わらず散見されました。また、用水路にもゴミが多く放置されていたので、用水路が深く、底まで降りて清掃することが出来ませんでした。西側フェンス沿いの道路は生活道路として、付近の住民の方々が利用されておられるので、更には、近隣の住民の皆様にも、更に快く思っていただけ車庫工場を目指し、次回用水路の清掃を行いたいと思っております。



市役所前駅

二〇一四年四月二十二日(火)に都市交評統一行動の清掃活動に取り組みました。今回は、駅務支部から、一番近い市役所前駅を選んできました。当駅は、ゼスト御池とも隣接しており、なんとと言っても「市役所の前」にある駅です。言わば東西線の顔と言っても過言ではないでしょう。しかも繁華街も近く、毎日たくさんのお客様にご利用頂いております。気持ちを込めて清掃に取り組みました。これからも多くのお客様に快適にご利用頂けるように、このような活動にも積極的に取り組んでいかなければならないと思っております。

